

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	50				
部局名	市民部	所属名	文化・青少年課	所属長	藤川 義則
事務事業名	00871	青少年健全育成事業	記入者	宿谷 真穂	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地方青少年問題協議会法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関連する 個別計画	大津市子ども・若者プラン
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	青少年健全育成事業費	

事業の概要
 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。
 (1) 青少年健全育成に係る各種啓発活動 (2) 青少年育成市民会議活動への支援 (3) 大津っ子まつりの開催 (4) 中学生広場の開催

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
対象 (何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
手段 (どのようなやり方で)	青少年育成学区民会議等と連携して事業を展開し
成果 (どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		8,519	9,174	9,699	8,425	8,425	
人件費 B		16,880	16,918	17,075	17,101	17,101	
事業費合計 A+B		25,399	26,092	26,774	25,526	25,526	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	346	346	346	346	346	自治振興交付金
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	25,053	25,746	26,428	25,180	25,180	
職員数(人)		3.15	3.15	3.15	2.93	2.93	
職員数の内訳	正規	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	
	嘱託	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時	0.60	0.60	0.60	1.38	1.38	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	啓発活動の回数	回	目標	1,200	1,200	1,200	1,000	1,200
				実績	1,411	1,621	1,513	-	-
2		あいさつ運動、パトロール回数		目標					
				実績					
成果指標	1	青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	目標	59,000	61,000	61,000	30,000	61,000
				実績	75,861	71,343	75,551	-	-
2		各青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	目標	23,000	23,000	23,000	0	23,000
				実績	25,000	29,000	27,000	-	-
		大津っ子まつりへの参加者数/令和2年度は事業中止							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	少子・高齢化や情報化の急速な進展など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、SNSの利用の仕方や引きこもりの長期化など、懸念される問題が多く存在する。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成27年度より中学生広場と青少年育成市民会議の青少年育成市民のつどいを同時開催し、更に令和元年度には地域の大人と参加中学生の意見交流会を実施し、中学生の思いを多くの方に伝えられた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	関係市民団体と市が担うべき役割りを分担し協働で事業を実施するなど、実施主体等は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	各関係市民団体が青少年健全育成を熱心に取り組んでいるため、成果目標を達成できている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	成果目標は達成しており、コスト削減にも努めたことから効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	青少年健全育成事業に取り組んでいる、地域や市民団体においては事業を拡大したり、現在の社会環境に合わせた事業に見直しをしたり等、総合計画に掲げる施策13「青少年の健全育成」への貢献度は高い。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	今後も引き続き、地域の子どもは地域で守ることを念頭に、青少年の健やかな成長と自立に向けた取組みを継続していく。新型コロナウイルス感染対応による活動の制限が予想されるが、対策を講じながら可能な範囲で活動し、新たな方法が考えられるものは検討していく。
部局長コメント	青少年育成市民会議は各地域において見守りや事業の開催など地道な活動を継続的に実施されている。引き続き、当該団体と連携し活動を支援するとともに、地域間での交流や情報共有を促し、効果的な事業の実施に努められたい。また、本年度は新型コロナウイルスの感染対策も十分講じた上で事業を実施し、事業の実施方法についても検討すること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	128.57 %	116.95 %	123.85 %
	指標2	92.00 %	79.31 %	85.18 %
成果増減率	指標1	- %	-5.95 %	+5.89 %
	指標2	- %	-16.00 %	+6.89 %
活動単位コスト	指標1	18 千円	16 千円	17 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	1 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率		- %	+10.22 %	-6.29 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	51		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	02265 子ども・若者育成支援推進事業	所 属 長	藤川 義則
		記 入 者	宿谷 真穂

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・若者育成支援推進法、子供・若者育成支援推進大綱 大津市子ども・若者プラン
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子ども・若者育成支援推進事業費	

事業の概要
「大津市子ども・若者プラン」に基づき、平成29年10月に子ども・若者総合相談窓口を開設すると同時に子ども・若者支援地域協議会を設置した。令和2年3月に「大津市子ども・若者プラン」を「大津市子ども・若者支援計画」として、福祉部局と共に策定し、切れ目のない支援を目指す。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う子ども・若者を支援するために
対象 (何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果 (どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,217	6,490	6,292	7,045	7,045	
人件費 B		7,540	7,549	7,625	7,976	7,976	
事業費合計 A+B		10,757	14,039	13,917	15,021	15,021	
事業費の内訳	国	0	0	300	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,757	14,039	13,617	15,021	15,021	
職員数(人)		1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	
職員数の内訳	正規	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	目標	7	9	9	5	5
				実績	7	9	8	-	-
平成29年10月よりネットワーク会議から支援地域協議会へ移行									
活動指標	2	大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	目標	200	450	800	800	1,000
				実績	225	1,243	1,781	-	-
平成29年10月1日開設									
成果指標	1	大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	74	85	80	-	-
平成29年10月よりネットワーク会議から支援地域協議会へ移行									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。	
これまでの見直しや改善等の経過	子ども・若者支援地域協議会において、子ども・若者総合相談窓口の相談事例による意見交換会や講師による研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関同士の連携を強化できた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	大津市総合計画に掲げる施策を推進するため、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	相談窓口の件数は増加傾向にあり、事業成果が大きく上がっていることから事業の有効性は高い。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	総合相談窓口の運営は専門的スキルを有する民間団体（社会福祉協議会）に委託しており、相談件数が増加傾向にあることから、事業の費用対効果は優れ、効率性は高い。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を、関係機関と連携しながら支援する体制づくりに努めることは、大津市総合計画「子ども・若者の健全育成体制の充実」に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	子ども・若者総合相談窓口を含む地域協議会の各機関がスムーズに連携して当事者および家族を支援できるよう、協議と知見習得を深め、全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。新型コロナウイルス禍においても相談が途切れないう、面談によらない相談方法についても対応を検討していく。
部局長コメント	次代を担う子ども・若者が社会的に自立できるよう、子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会の各機関が連携して支援を行うとともに、当事者に必要な情報が届くよう、支援機関の広報周知にも努められたい。また、新型コロナウイルス禍における相談方法について、可能な対応について検討すること。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	92.50 %	106.25 %	100.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+14.86 %	-5.88 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,536 千円	1,559 千円	1,739 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	145 千円	165 千円	173 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+13.62 %	+5.32 %	

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	389				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	生涯学習課	所 属 長	本郷 照彦
事務事業名	00890 青少年教育推進事業	記 入 者	源田 扶左子		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等		
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
	施策	05	青少年の健全育成			
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成			
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	青少年教育推進事業費	

事業の概要
 青少年の健全育成並びに青少年活動の活性化のための事業を行う。(ユースボランティアセミナー研修会開催)

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	青少年が、若さと情熱を持って積極的、自主的にまちづくりに貢献する。
対象 (何又は誰を)	ユースボランティアセミナー参加者及び同企画委員
手段 (どのようなやり方で)	ユースボランティアセミナー研修会の開催
成果 (どのような状態にするのか)	青少年指導者の養成・育成を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		90	135	406	498	485	H29~補助事業分を社会教育関
人件費 B		2,568	4,595	4,814	4,377	4,709	係団体推進事業に統合
事業費合計 A+B		2,658	4,730	5,220	4,875	5,194	H30~子ども読書推進事業統合
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,658	4,730	5,220	4,875	5,194	
職員数(人)		0.39	0.76	0.58	0.54	0.58	
職員数 の内訳	正規	0.29	0.49	0.58	0.52	0.56	
	嘱託	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.22	0.00	0.02	0.02	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)委員数	人	目標	15	15	15	15	15
				実績	16	15	13	-	-
活動指標	2	人数		目標					
				実績					
成果指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)参加者数	人	目標	40	40	40	20	20
				実績	33	15	45	-	-
成果指標	2	事業への参加者数		目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	390				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	生涯学習課	所 属 長	本郷 照彦
事務事業名	00811 成人式開催事業	記 入 者	源田 扶左子		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	成人式開催事業費	
事業の概要	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため、成人式を挙げる。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図る
対象 (何又は誰を)	平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの人
手段 (どのようなやり方で)	新成人等の意見を踏まえたホテルでの成人式典の挙行
成果 (どのような状態にするのか)	新成人に「大人」になったことの自覚を促すとともに、社会の一員としての責務を再認識させる

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		5,732	5,986	6,103	6,734	9,791	
人件費 B		2,978	2,749	5,310	6,160	6,160	
事業費合計 A+B		8,710	8,735	11,413	12,894	15,951	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	8,710	8,735	11,413	12,894	15,951	
職員数(人)		0.44	0.45	0.74	0.78	0.78	
職員数の内訳	正規	0.34	0.30	0.61	0.72	0.72	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.15	0.13	0.06	0.06	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	参加者	人	目標	2,700	2,800	2,800	2,160	2,160
				実績	2,875	2,934	2,628	-	-
		当日参加人数							
成果指標	1	参加率	%	目標	80	80	80	60	60
				実績	82.9	79.4	73	-	-
			対象者/参加者×100						
	2				目標				
実績									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	410	
部 局 名	教育委員会	所 属 名 少年センター
事務事業名	00881 大津少年センター運営事業	所 属 長 平松 一郎
		記 入 者 中澤 豊

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市生涯学習センター 条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします	関連する 個別計画	
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	00875	青少年健全育成条例運用事業（大津少年センター）		2416	少年センター
	00879	特別非行防止対策事業（大津少年センター）		2416	少年センター
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大津少年センター運営事業費	
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集と整備を行い、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、実態把握と補導・保護活動を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する指導・助言を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の理解を深める。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,643	1,669	1,626	2,269	2,269	
人件費 B		23,575	23,698	21,821	21,558	21,558	
事業費合計 A+B		25,218	25,367	23,447	23,827	23,827	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	230	230	230	230	230	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	24,988	25,137	23,217	23,597	23,597	
職員数(人)		6.74	6.74	6.61	6.00	6.00	
職員数の内訳	正規	0.61	0.61	0.46	0.60	0.60	
	嘱託	6.13	6.13	5.40	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.75	5.40	5.40	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	街頭補導回数	回	目標	550	550	500	500	500
				実績	581	500	507	-	-
	街頭補導を実施した回数								
	2	少年相談件数	件	目標	1,100	1,100	1,200	1,100	1,100
実績				1,333	1,537	1,312	-	-	
相談を受理した件数									
成果指標	1	補導人数(愛の声かけを含む)	人	目標	1,000	1,000	1,000	900	900
				実績	838	968	757	-	-
	街頭補導による補導人数(愛の声かけを含む)								
	2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	25	25	25	25	25
実績				30	32	26	-	-	
相談の結果改善がみられた人数(継続相談者も含む)									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	411				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	少年センター	所 属 長	平松 一郎
事務事業名	00882	堅田少年センター運営事業	記 入 者	中澤 豊	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	北部地域文化センター条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00876	青少年健全育成条例運用事業（堅田少年センター）	2416	少年センター
	00880	特別非行防止対策事業（堅田少年センター）	2416	少年センター

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	堅田少年センター運営事業費	

事業の概要
 青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動等を推進する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、実態把握と補導・保護活動を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する指導・助言を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の理解を深める。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		927	793	843	1,103	1,103	
人件費 B		8,329	8,376	7,053	9,765	9,765	
事業費合計 A+B		9,256	9,169	7,896	10,868	10,868	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	230	148	230	230	230	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,026	9,021	7,666	10,638	10,638	
職員数(人)		2.51	2.51	2.11	2.67	2.67	
職員数の内訳	正規	0.14	0.14	0.11	0.30	0.30	
	嘱託	2.37	2.37	2.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	2.37	2.37	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	街頭補導回数	回	目標	280	280	250	250	250
				実績	336	296	256	-	-
	街頭補導を実施した回数								
	2	少年相談件数	件	目標	300	300	300	300	300
実績				477	463	542	-	-	
相談を受理した件数									
成果指標	1	補導人数（愛の声かけを含む）	人	目標	600	600	600	600	600
				実績	1,638	1,244	1,531	-	-
	街頭補導による補導人数（愛の声かけを含む）								
	2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	10	10	10	10	10
実績				15	15	15	-	-	
相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）									

